

学園タイムス

Sagaseishigakuen times

Vol. 6

■発行日：平成26年10月30日
■発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
■発行者：理事長 中尾清一郎
■編集：法人広報誌編集委員



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

～ 江里山の棚田 ～
小城市小城市の北部・天山山系南側の中腹・標高250メートルに位置します。日本の棚田百選（平成11年農林水産省選定）、全国農村景観百選（平成4年農林水産省選定）、山の斜面に広がる棚田の数は約600枚。9月下旬には真っ赤な彼岸花があぜ道を彩り、里山の風景をいっそう印象づけます。毎年この頃になると江里山棚田祭りが開催され沢山の観光客で賑わいます。

巻頭言

侍の独り言

からつ医療福祉センター
障害者支援施設 久里双水園 施設長 岩瀬 裕幸



金木犀の香りが心地よい季節となり、秋も深まって来ているなど思っていたら、2週連続、それも週末に大型台風18号、19号と日本を縦断し、各地に災害の爪あとを残していった。最近、日本は亜熱帯地域になったのか、予想もしないような大雨等の大災害も各地で起きている。

さて、からつ医療福祉センターも既に開設12年6ヶ月を経過した。平成14年の開設当時の主な事業としては、重症心身障害児施設（現：療養介護事業所）、身体障害者療養施設（現：障害者支援施設）、知的障害児通園施設（現：児童発達支援センター）、と医科、歯科の医療機関の事業を開始した。その当時、職員は80名であったが、現在は200名の職員が働いている。事業もその時々ニーズに応じて、地域で暮らしている障害者の方が福祉サービスを利用できるよう、デイサービス（生活介護）、福祉ホーム、就労継続支援B型、放課後等デイサービス、日中一時支援、特定・障害児相談支援事業等々を小規模ながら数多く展開してきた。

開設時、佐賀からやって来た幹部としての「7人の侍」を中心に組織を運営し、人材を育ててきた。今では開設当時の平職員の4人が課長となり、その他にも監督職である副主任以上が25名を数え、ようやくいい感じの組織が作られてきたように思う。その分「7人の侍」（今では4人の侍だが）少し肩の荷が降りたような気がする。その間、私はせっせと佐賀から片道40キロの通勤路を12年半、ひたすら通い続け、気がつけば通勤距離はもう少しで地球7周目に到達しようとしている。愛車「エスティマ」も20万キロの台をはるかに超えて引退の時期を迎えそうである。

障害児・者の制度が、短期間にめまぐるしく変遷していったことは、皆さんも周知のことでしょう。最近、

社会福祉法人の内部留保の話題が湧き上がり、地域・社会貢献にもっと使うべき、更には社会福祉法人への課税の話までも出てきている。しかし全国大半の施設はそれぞれ経営努力をして、次世代のために貯蓄したものではないだろうか。社会貢献においても、それぞれの施設で、いろんなことを取り組んでいることも事実である。社会貢献していない施設は無いのではないかと？10月の福祉新聞で、厚労省は内部留保から事業に必要な財産や運転資金を除く「余裕財産」と言う新しい言葉を使ってきた。それによると計画的に再投下することを義務付け、法人に社会貢献を義務付ける提案を政府は大幅で了解したとのことであった。

先ほども触れたが、障害児・者のめまぐるしい福祉制度の改革が短期間の中で行われ、少し落ち着いてきたと思ったら、今度は新たに社会福祉法人へ上記の問題提起の声が押し寄せてきている。わが法人でも、多くの様々な社会貢献は行ってきたと自負しているが、このような情勢の中、新たに社会貢献を明確化するため、生活困窮者支援事業等を現在検討しているところである。まだまだ社会福祉法人を取り巻く問題は山積みなのかもしれないが、時代の流れにすばやく適応できる法人でありたい。

最後に来年13年目を迎えるからつ医療福祉センターも、佐賀県の施設整備費補助金（1億7千万円）及び自己資金（3億5千3百万円）を投資して、現在4階建ての在宅サポートセンターを増築中である（建材費等の高騰で大変な時期ではあったが）。更に、2年後を目途に福岡県糸島市に現在サービスが不足している、児童発達支援センター及びリハビリ施設（診療所）等の在宅福祉サービスの拠点を検討・計画しており、更なる社会・地域貢献に努めていきたい。

各種報告

平成26年度第4回理事会第2回評議員会

平成26年12月1日に平成26年度第4回理事会及び第2回評議員会がこども発達医療センター会議室で開催されました。

評議員会では、定款の一部改正、補正予算案、次期理事及び監事の選任について提案され原案どおり同意されました。理事会では報告事項として社会福祉法人巡る最近の状況の報告、施設等の整備関係の報告として、こども発達医療センターの厨房等改築工事、オークスの在宅サポートセンター新築工事、からつ医療福祉センター増築工事の着工が報告されました。

議案の審議では、社会福祉法人佐賀整肢学園次期評議員の選任及び、社会福祉法人佐賀整肢学園理事長、副理事長及び常務理事の互選、障害者福祉施設災害時避難車両に係る契約など20の議案について審議し、原案どおり議決されました。

また協議事項では、社会福祉法人佐賀整肢学園 給食業務委託業者選定及び福岡県糸島市への事業所設置計画について協議がなされ了承されました。

在宅サポートセンター起工式（からつ医療福祉センター）

平成26年8月12日（火）に、からつ医療福祉センターの在宅サポートセンターの起工式が行われました。完成後は、からつ医療福祉センターの児童発達支援センター、放課後等デイサービス、外来リハビリテーション、災害時避難施設などの事業が入ることとなり児童系在宅サービスの拠点となります。平成26年度中の完成予定です。



在宅サポートセンター
完成図



厨房棟改築及び附帯工事起工式（こども発達医療センター）

平成26年度の佐賀県緊急経済対策補助金にて、こども発達医療センターでは厨房棟の改築工事を実施しています。

去る9月30日には、起工式が執り行われました。工事概要は、老朽化が著しい既存厨房棟の建て替えということで、旧病棟の一部を取り壊し、そこへ新厨房棟を建築し、渡り廊下で接続します。

取り壊しに伴う国への承認申請、基本財産の変更、埋蔵文化財の発掘調査、保健所との調整、厨房機器の入札整備など、事務手続きは煩雑ですが、きれいで立派な新厨房棟の完成が待たれます。



事業所 TOPICS

法人本部

サジク総合社会福祉館訪問



佐賀整肢学園では、昨年12月に韓国釜山市のサジク総合社会福祉館と施設間交流協定を結び、2施設間での交流訪問がスタートしました。今年度は11月26日から28日までの3日間、佐賀整肢学園から7名の職員がサジク総合社会福祉館を訪問しました。サジク総合社会福祉館の訪問の他、トンメク老人福祉館、青少年支援センターなどの施設を案内していただき、福祉館の館長さんが出席されてのサジク福祉館職員の皆様との食事会を開催していただきました。海外の施設を見学する機会は、医療福祉専門職として知見を広げるいい機会、とても有意義な交流訪問となったと思います。今後この交流訪問が活発に発展していければと考えています。

こども発達医療センター

サガン鳥栖来園

10月9日に、日本代表にも選出されている豊田選手をはじめ5名のサガン鳥栖の選手が来園されました。第1病棟で歓迎のセレモニーの後、各病棟に訪問していただきました。これまで、テレビやスタジアムの客席から見る選手たちを間近に見ることができ、質問コーナーなど楽しい時間を過ごすことができました。こども発達医療センターは、これからもサガン鳥栖を応援します！



かんざき清流苑

敬老訪問



「敬老の日」も間近にせまった9月10日に、こども発達医療センターから、園児の皆さんに恒例の敬老訪問で御来苑をいただきました。5月の「こどもの日」に合わせ、清流苑からも利用者の皆様が訪問しており、毎年交流を行っています。

今年は園児の皆さんが手作りされた貼り絵の最後の仕上げを園児さん、利用者様で協力して行いました。出来上がった貼り絵は、苑の行事「敬老会・秋祭り」のステージ上に貼り、皆様にご披露しました。また来年も園児の皆さんの元気な笑顔をお待ちしています。

医療技術研修

からつ医療福祉センター

当センターでは、今年度8月より、リハビリテーション課新規採用職員を対象に、「医療技術研修」として、原センター長10回シリーズの統計学の研修会が開催されています。参加者は、毎回昼食をとりながら和やかな雰囲気のもと、学会発表での基礎知識となる統計学の勉強に取り組んでいます。

基礎的な統計用語の解説から、統計ソフトを利用した実践的な統計処理まで段階的なカリキュラムが計画されており、日々の業務にプラスした自己研鑽の場となっています。



第38回九州地区救護施設職員研究大会

かんざき日の隈寮



7月3～4日の2日間、鹿児島市で、第38回九州地区救護施設職員研究大会が開催されました。当施設は「かんざき日の隈寮における新規採用職員の教育システムについて」というテーマで意見発表を行いました。

日の隈寮では正規職員のみを対象としていた教育委員制度を有期契約職員にも取り入れ、教育委員を中心に、職員全体で新人の教育を行っています。また、業務に限らず国家試験対策にも力を入れていることなどを発表し、現在の新規採用職員の活躍を報告しました。

他施設の関心や評価も高く、11施設の発表があるなか、見事優秀賞に選ばれました。

江里口施設長はよく「人材は宝」と話されます。これからも職員全体で人材育成に真摯に取り組み、よりきめ細やかな支援とサービスの向上を目指していきます。

認知症高齢者の見守り及び行方不明時の対応について

佐賀向陽園・わいわい

認知症が原因で行方不明になった方が全国で10,322人、佐賀県で52人となっていますが、当養護老人ホームでも利用者80名のうち、約3割の利用者が何らかの認知症状を有されています。

当施設でも対応策として、利用者の方が外出される時には、外出許可証（施設名や連絡先を記載）をお渡し、必要に応じて本人同意のもと、連絡先が記載された靴を身に着けて頂いたり、また、警備会社と連携したGPS端末を携帯して頂くことで、情報位置検索を可能とし、行方不明の防止や早期発見につながる取り組みを行っています。

今後も認知症高齢者の安心・安全な暮らしを見守るよう、認知症デイサービスの開設も急務と思われます。



① GPS 位置情報検索の訓練



② GPS 検索画面



③ 連絡先が記載された靴

学園仕事図鑑 (佐賀整肢学園で働く様々な職種を紹介します)

Vol.2 ケアマネージャー

かんざき清流苑編

こんな仕事をしていますよ。

介護の知識を幅広く持った専門家でケアプランを作る専門職です。

施設と在宅のケアマネージャーが利用者の自立支援を図ります。

今回は在宅のケアマネージャーの説明をします。

◎利用者様やご家族の相談に応じアドバイスをします。

◎利用者の希望に添ったケアプランを作成します。

◎サービス事業所と連絡や調整をします。

◎施設入所を希望される人に適切な施設を紹介します。

具体的な仕事の内容を
介護保険の流れに添って
説明しますね。

- ① 要介護認定申請代行を希望があれば行ないます。
- ② 認定調査（保険者から委託を受けた人が調査します）
- ③ ケアプラン作成にあたり、面接、アセスメントをします。
- ④ ケアプランを作成します。
- ⑤ サービス担当者会議を開催し各サービス業者を招集し意見交換をします。
- ⑥ モニタリングの為に利用者の自宅を訪問します。
- ⑦ 関係機関との連携、サービス調整を適宜行ないます。
- ⑧ 給付管理を行ないます（介護給付費、報酬の請求）。

※ “ケアプラン” とは
介護サービスの
利用計画です。



ケアマネージャー
って何？
どんな仕事をして
いるの？

◎福祉用具購入の手続きと申請。
（腰掛け便座や入浴補助具等）

◎住宅改修の手続きと申請。
（手すり取り付けや段差の解消、バリアフリー等）

◎福祉用具貸与の手続き
（ベッド、車椅子、スロープ等は貸与です。）

◎介護支援専門員協議会での研修会や、
事例検討会へ積極的に参加しスキルアップに努めています。

他には
こんな仕事も
やってるよ。



※必要であれば地域にある色々な福祉の情報等をご紹介します。

ケアマネジャーの一日

8:30



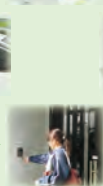
朝のミーティング風景です。
前日の報告や当日の訪問等の
スケジュールを確認します。

9:00



訪問の日時を
連絡します。

11:00



家に入る前から
モニタリングが
始まっています。

12:00

休憩

14:00



担当者会議では利用者本人と
各事業所の方全員で話し合い
をします。

15:00



ケアプランを
作成したり、
訪問や調査等
の記録をとっ
ています。

17:30

認定調査では
身体の動き等
を実際に確認
します。



一日の業務内容

- 8:30 朝のミーティング
- 8:40 環境整備
- 9:00 利用者との訪問調整
各事業所との連絡調整
- 10:00 訪問（モニタリング）
- 12:00 休憩
- 14:00 サービス担当者会議等
- 15:00 認定調査等
- 16:00 帰死
- 16:30 記録整理等
- 17:30 帰宅

この人に注目



主任ケアマネジャー
興梧主任

居宅のケアマネジャー
になって8年目です。
この仕事はマンネリがなく、
日々変化と刺激のある仕
事で、これが若さの秘訣
かも？（笑）。
御家族に頼られる分責任
の重さを感じていますが、
訪問先で“笑顔”と“元気”
をお届けできればと思っ
ております。



かんざき清流苑のケアマネジャーです。

障害者支援施設・デイサービスセンター

佐賀整肢学園・オークス

施設の概要

佐賀整肢学園・オークスは、障害を抱えている方が、その人らしい生活を送れるように入所サービス部門（施設入所支援等）と在宅部門（生活介護・就労継続支援等）の多種多様な福祉サービスを提供している施設です。

在宅サービス部門は、平成 27 年 4 月に福祉ホーム側に新築移転し在宅サポートセンターとして開所予定です。



入所サービス部門

入所サービス部門では、施設入所支援（52 名）、生活介護（52 名）、短期入所（2 名）等の福祉サービスを提供しています。



日中一時支援

障害児（者）に通所してもらい、活動の場・見守り・必要な介護サービスを提供を行います。
家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図るものです。



在宅サービス部門

在宅サービス部門では、生活介護（20名）、地域活動支援センター（15名）、特定・障害児相談支援事業等の障害福祉サービスを提供しています。佐賀整肢学園・オークスの特徴として、障害福祉サービスだけでなく、通所介護（25名）や居宅介護支援事業といった介護保険サービスも提供しています。

新しいサービスである就労継続支援 B 型事業所ピーンズを、平成 26 年 7 月より提供しています。



就労継続支援 B 型事業 ピーンズ

就労継続支援 B 型事業ピーンズでは、一般企業などでの就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行っています。農園作業、縫製作業、リサイクル作業、事務作業の工程の中で本人の特徴・個性を生かしながら働いていただいています。生活介護を利用している方のなかで、働きたいという意思を持っている方も、午後より生産活動（13：00～15：00）という形で賃金の発生する作業をしていただいています。



保養所ハウステンボス



佐賀整肢学園では、湯布院保養所（大分県由布市）に次いで、新たにハウステンボスに保養所を開設しました。

リビング・ダイニングに加えて、2階には和室・洋室を備えており、家族や大人数でも宿泊にも最適です。

北面のテラスは、ハウステンボスの運河に面していてとてもいい雰囲気空間となっています。

もちろん利用料は無料です。開設間もない保養所ですが、大変人気で多くの利用申し込みがあります。同僚や家族でハウステンボス観光に合わせてご利用いただくには最適な施設ですので、職員の皆様のご利用をおまちしております。

利用に際し申し込みが重複している場合は、抽選とさせていただきます。

その他詳しい申し込み方法などは、各施設の担当に問い合わせいただくか 法人事務局までお問い合わせ下さい。



局長随想

頑張れサガン鳥栖

今回はプロサッカーチーム J1 の「サガン鳥栖」を取り上げたい。今年のサガン鳥栖は11月3日現在4位で、首位争いに加わり、いまや J リーグ18チームの中で、強豪チームの一角を占めるまでになっている。FW の豊田選手は得点ランキング1位で、日本代表に選ばれるなど、目覚ましい活躍ぶりだ。ホームタウンの鳥栖市は、人口7万人で、単独のホームタウンとしては J リーグ加盟40クラブの中では最も少ない。

鳥栖市は、九州の交通の要衝というものの、県庁所在地でもない地方の小都市に、こんな立派なサッカーチームがよくも誕生し、活動を行っていることについて不思議がられているようだ。しかし、そこには一度消えかかったプロサッカーの火を守り通した、多くの人たちの、愛と情熱があったからこそいまの隆盛が生まれたのである。

サガン鳥栖は、1997年から2011年までは J2 で、2012年から J1 で戦っているが、それ以前にも佐賀県にはプロサッカーチームがあった。人々の記憶から段々忘れられているが、そのチーム名が鳥栖フューチャーズである。もともとは静岡県浜松市に生まれたサッカーチームであったが、1994年にホームタウンを鳥栖市に移し、往年の名ゴールキーパー松永成立や元カメルーン代表ステファン・タタウ等を擁して1996年まで J F L で戦った。

筆者は、前職でこのチーム支援関係業務にも関わっていたことから、試合があるたびに、鳥栖スタジアムが完成するまでの暫定本拠地であった佐賀県総合運動場や、福岡県小郡市の競技場まで、毎試合応援にいったものだ。だが、成績は振るはず、チームの年間成績は4位が最高であった。佐賀県や鳥栖市の行政を始め、県内の新聞、建設、金融等の主要企業も株主となって支援を続けたが、1996年メインスポンサーの撤退により、1997年に鳥栖フューチャーズは解散した。

しかしながら、県内にプロサッカーチーム存続を求める5万人の署名が呼び水となって、同年に新たな団体としてサガン鳥栖を発足させたのである。チームはその後、幾多の紆余曲折を経ながら J 2 から J 1 へと、J リーグの階段を上がって行き現在の姿となったのである。

今年の10月9日には、豊田選手ほか4名の選手にこども発達医療センターを訪問していただいて、入所見たちを励ましてもらった。サガン鳥栖はこの様な地域との交流にも気配りをされており、佐賀県にとってもまさに地域資源のひとつになりつつあり、よろこばしいことである。

今年の最終節は、現在首位の浦和レッズ戦が予定されている。鳥栖スタジアムを埋め尽くす真っ赤なユニフォームの浦和サポーターの面前で、鳥栖イレブンが快勝してくれることを期待している。

ボランティア・施設見学・実習生受け入れ

(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

ボランティア 貴重なお時間を頂きありがとうございます



【こども発達医療センター】	九電友の会様	親和会様			
【かんざき清流苑】	音楽愛好会様	ヒューマンドレミ様	藤間流日舞様	富の会様	鶴の会様
	日舞(山崎様)	おどり座様	鶴の会様		
【からつ医療福祉センター】	加藤万里子様(民謡教室)	辰野真由美様(手芸教室)	折尾 幸子様(パン教室)		
	川打 恒子様(書道教室)	田村 静二様(絵画教室)	無津呂 正様(陶芸教室)		
【かんざき日の隈寮】	山崎 節子様(日舞クラブ)	三好富美子様(生花クラブ)			
	西村 百美様(エアロビクスクラブ)				
【向陽園・わいわい】	佐賀少年刑務所(訪問理容)	金立町社協(傾聴ボランティア)	水琴の会		
	視聴覚協会マッサージ訪問				



施設見学 ご訪問ありがとうございました



- 【こども発達医療センター】 医療福祉専門学校 緑生館 様 佐賀県うれしの特別支援学校 様
社会福祉法人慈愛会 医療福祉センター聖ヨゼフ園 様
- 【からつ医療福祉センター】 唐津看護学校 様
- 【かんざき日の隈寮】 西九州大学 20 名

実習生受け入れ 今後のご活躍をお祈り致します



- 【こども発達医療センター】 西九州大学リハビリテーション学部 1 名 佐賀歯科衛生専門学校 43 名
株式会社 佐賀銀行 12 名 佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校 4 名
西九州大学 1 名 西九州大学短期大学部 2 名
柳川リハビリテーション学院 1 名
- 【かんざき清流苑】 佐賀女子高校 佐賀女子高校 北陵高校 1 名
西九州大学 21 名 神埼清明高校 北陵高校
- 【からつ医療福祉センター】 伊万里看護学校 39 名 神戸学院大学リハビリテーション学部 1 名
西九州大学リハビリテーション学部 1 名 福岡国際医療技術専門学校 1 名
- 【かんざき日の隈寮】 西九州大学短期大学部 2 名

お知らせ

法人内行事予定 (抜粋)

7 月	8 月	9 月
4 日 セツ会 (日の隈) セツ素麺会 (清流苑)	7 日 盆供養 8 日 法人内施設長等連絡会議 (法人)	2～4 日 非常食を食べよう会 (こども)
5 日 日帰り旅行 (久里双水)	9 日 日帰り旅行 (久里双水)	6 日 家族施設見学 (からつ)
14 日 施餓鬼法要 (向陽園)	13 日 日の隈温泉 (日の隈)	12 日 敬老会 (日の隈)
16 日 外出支援活動 (向陽園)	19 日 縁日会 (清流苑)	13 日 敬老会・秋祭り (清流苑)
18 日 そうめん流し (日の隈)	20 日 外出支援活動 (向陽園)	15 日 敬老ふれあい秋祭り (向わい)
25 日 佐賀県警音楽隊 (日の隈)	23 日 日帰り旅行 (久里双水) 30 日 納涼祭 (日の隈)	20～21 日 SVC 夏季キャンプ (こども)
		25 日 日帰り旅行 (アルトン)
		26 日 花火大会 (こども)
		30 日 外出支援活動 (向陽園)

編集後記

今年の夏は雨続きで、毎年異常気象とつぶやいているような気がします。

広島をはじめ自然災害が数多く起こり、予期せぬ事態に備えることの必要性を改めて考えさせられました。内閣府の防災情報のページに「7つの備え」があれば、災害被害を軽減できると紹介されています。「1. 自助、共助、2. 地域とのつながり、3. 地震に強い家、4. 家具の固定、5. 日ごろからの備え、6. 家族で防災会議、7. 地域とのつながり」であり、事前にこれらの情報や知識を共有し、対処方法を相談しておけば、いざという時に冷静に行動することができるのではないのでしょうか。

季節の変わり目、どうぞ、体調にも十分お気を付け下さい。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

